

## 東海非鉄リサイクル協組

### 「三重産廃条例」で講演

4月例会

東海非鉄リサイクル 山耕平・三光金属社  
協同組合(理事長||村長)は16日、名古屋市

中区の名古屋クレスト  
ンホテルで、4月例会  
と青年部の上杉圭司委  
員(ウエスギ社長)と  
電線・リサイクル部の  
上杉勝治部長(ウエス  
ギ会長)を講師に招  
き、講演会を開催し  
た。

冒頭、村山理事長は  
あいさつの中で「中国  
の元気がつられ銅相場  
のみがバブル的に上が  
ってきた。また、玉が  
中国に流れ日本国内が  
空洞化してきている。  
相場も電気銅を銅スク  
ラップが上回る親不孝  
相場となる可能性も否  
定できず、注意が必要  
だ」と語った。

引き続き、上杉圭司  
委員が壇上に立ち、三  
重県の「産業廃棄物の  
適正な処理の推進に関  
する条例」について講  
演した。その中で「三  
重県の法令は全国に先  
駆けたもので、厳しい  
罰則規定も定められて

いる。今後、全国に波  
及していくことが予測  
される」ことを指摘。  
また、具体的な例を  
挙げながら「小さなミ  
スと違って見過ごして  
いたら、事業停止に至  
ったケースもある。丁  
寧に対応していくこと  
が必要だ」と注意を訴  
えた。

次に、上杉勝治部長  
が自らの人生を振り返  
りながら業界について  
語った。その中で旧中  
部電線リサイクル協議  
会について「最初は東  
京の協会に誘われ入会  
した。そのうち中部地  
区も1社、2社と増  
え、中部でも協会をと  
声を掛けられたのきっ  
かけに、力を合わせ設  
立した」とのエピソードを披露。

また「私は手がある  
限り手を合わせ続け、  
感謝の気持ちを表して  
いきたい。皆様も手を  
合わせ、人に感謝し、



上杉委員

明るい人生  
を開いてい  
ってほし  
い」と感謝  
の気持ちを  
持つことの  
大切さを語  
った。